

■プログラム名

ASEAN諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成

■現状及び展望

ほぼ計画通りに進捗している。アセアン諸国としては当初のインドネシアとタイ以外に、カンボジアの国際大学やフィリピンのフィリピン大学、また、アセアン以外ではバングラディッシュのチッタゴン医科大学などを新たなパートナーとして検討している。ただ、既に交流を行っている大学からも交流学生数を増やしたいという希望が多く出ているので、どのようにして対応するかを検討中である。

■問題点及び制度上の改正希望

上記のように、交流大学や交流学生数は増加する一方であるので、総経費の30%までしか学生経費に使えない現行制度では対応が困難である。学生経費の上限を上げるか、撤廃していただければありがたい。

現在の航空券購入システムではクレジットカードによる立替払いが利用できないため、最安値の格安チケットが購入できない。派遣学生に一律に留学奨励金としてリーズナブルな金額(例えば、4週間の滞在の場合、バンコクのマヒドン大学なら7万円、ジョグジャカルタのガジャマダ大学なら10万円)を支給できるような制度改正を検討していただければありがたい。(そうすれば、一人当たりの学生にかかる経費は確実に減らすことができるので、交流学生数を増やすことができる。また、学生が自主的に格安航空券を探すことになり、将来の海外展開への良い経験となる。)

一方、制度上の問題点ではないが、神戸大学や大阪大学では学生寮が利用できず、周辺の民間宿泊施設も安価ではないため、宿泊先の確保に苦労している。

■学生交流数

交流方向	平成23年度	平成24年度	平成25年度(※)
受入	0	3	23
派遣	0	11	22

(※)予定含む